

海底熱水鉱床採鉱技術開発等調査事業

平成30年度予算額 **5.6億円（5.0億円）**

事業の内容

事業目的・概要

- 海底熱水鉱床は我が国の周辺海域に存在し、ものづくり産業に必要な不可欠な銅、鉛、亜鉛、金、銀等を含んでいます。
- この豊富な資源である海底熱水鉱床の海洋鉱物資源の商業化が図られていないのは、深海底で鉱石を掘る（採鉱）、海上に鉱石を引き上げる（揚鉱）、金属を取り出す（選鉱・製錬）の技術が未確立であるためです。
- 本事業は、海底熱水鉱床の開発に必要な技術のうち、選鉱・製錬技術の調査・試験等を行い要素技術の確立を目指すとともに、環境影響調査を実施します。

成果目標

- 平成20年度から平成30年度までの事業であり、海洋エネルギー・鉱物資源開発計画（平成25年12月、経済産業省）の工程表に沿って開発を進めるため、海域でのパイロット試験等を通じて要素技術等（選鉱・製錬、環境影響評価手法）の確立を目指します。なお、平成31年度以降の事業計画は、次期海洋基本計画の策定（平成30年度に内閣府 総合海洋政策推進事務局とりまとめ）に合わせ改めて整理予定です。

条件（対象者、対象行為、補助率等）

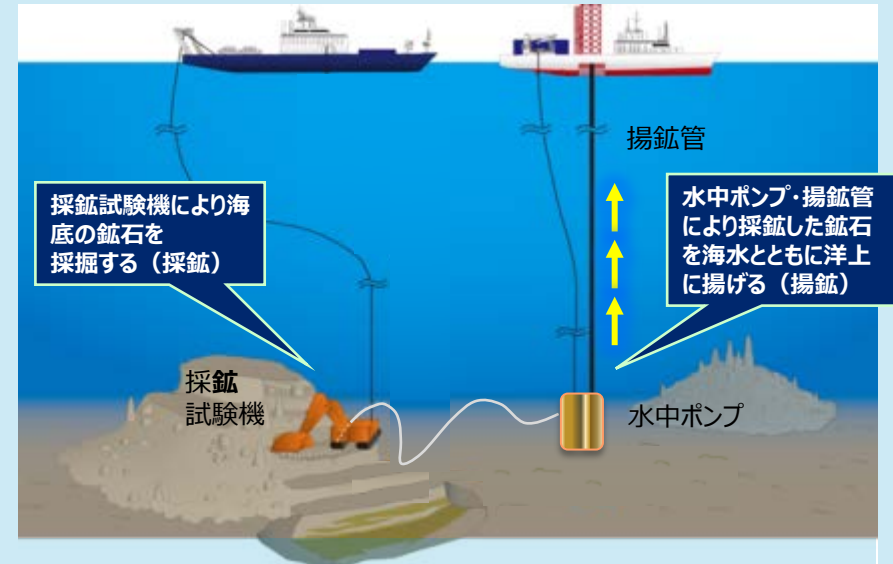


委託

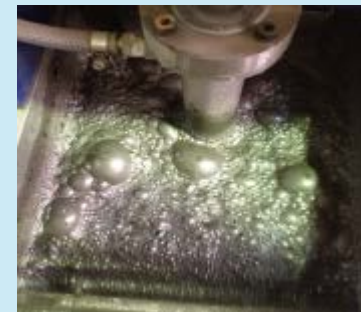


民間企業等

事業イメージ



【採鉱・揚鉱イメージ図】



選鉱試験の様子



環境影響調査の様子